

令和7年10月12日

令和7年度 第1回 地域連携推進会議 議事録

社会福祉法人 かながわ黎明会
共同生活援助 くりのみ生活ホーム

1. 開催概要

日 時：令和7年10月12日(日) 13:30～16:00

場 所：共同生活援助 くりのみ生活ホーム

出席者：会議構成員 地域関係者、入居者、入居者後見人 (合計3名)

理事長兼管理者 世話人 サビ管 (合計3名)

2. 議事

配布資料をもとに、理事長兼管理者が進行を行った。

- (1) 法人理事長兼管理者挨拶 参加者自己紹介
- (2) 施設案内
- (3) 施設概要～くりのみ生活ホームの施設概要、入居者・支援体制、22年間の運営の流れ、ご近所の方とのトラブルや解決の報告
- (4) 地域との連携
- (5) 質疑応答

3. 参加者から出た質問・感想

- ・入居者より 地域の方があたたかく目をかけてくれると感じており、会うと挨拶をしてくれる。近所に住んでいる知り合いの方から野菜を分けて頂いたりすることもある。とても住みやすいと感じている。今後の希望としては、建物自体が老朽化してきているので新しいグループホームを建ててほしい。高齢化などを考えてバリアフリーであるとよい。
- ・土日の昼食については、入居者が手配する。近所の食堂やスーパーやコンビニで手配する方もいる。入居者後見人の方が入居者と行動している際に、地域の方は入居者が購入する事を知っており、持っている金額でいかに希望する物が買えるか手伝いをしてくれるという素晴らしい場面を目撃したとの事。
- ・くりのみ生活ホームでは、夜間職員配置がされていない。緊急時や災害時に備えて玄関先に非常用のリュックサックが用意してある。また、生活ホームの近くに世話人が居住しており緊急時の対応等はしてくれる。
- ・世話人が起床から朝食時までの時間と夕食前後の時間を、本体職員が週に2日ホームへ見回りに行き入居者の体調管理や困り事などを聞いている。その場で解決できない事柄は持ち帰り解決に向けての対応をしている。

以上